

平成30年度予算総額1004億500万円を可決したほか
議員提出議案「熊谷市子どもいじめ防止条例」などを可決

施政方針等の概要

初日(2月28日)の本会議では、市長から施政方針演説と予算等の概要説明が次のとおりありました。

「平成30年度は、第二次総合振興計画のスタートの年である。計画では、本市の将来都市像を「子どもたちの笑顔がふれるまち 熊谷く輝く未来へトライク」と定め、地域資源を生かした独自性と自立性の高い持続可能なまちづくりを進めるとともに、子どもたちが郷土愛を育みながら健やかに育つ都市を目指す。

ラグビーワールドカップ2019の本市での開催については、準備が最終段階に入り、大会成功に向け万全を期すとともに、大会後を見据え、ハード、ソフト両面の成果を次の世代への贈り物として、本市のさらなる飛躍につなげていく。

「平成30年度は、第二次総合振興計画のスタートの年である。計画では、本市の将来都市像を「子どもたちの笑顔がふれるまち 熊谷く輝く未来へトライク」と定め、地域資源を生かした独自性と自立性の高い持続可能なまちづくりを進めるとともに、子どもたちが郷土愛を育みながら健やかに育つ都市を目指す。」

位置付けられている各種施策を加え、総合振興計画および「総合戦略」を早期に実現するための事業やラグビーワールドカップ2019関連経費に重点配分を行い、一般会計は、総額643億円で、特別会計等を含む総額は、1004億500万円である。

平成29年度補正予算案は、一般会計において、市債の減額、公共施設建設基金への積み立て、職員の勧奨退職等に伴う退職手当の追加等を行う。

一般議案として、国民健康保険制度の広域化に伴う「熊谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例」などを提案する。

新年度予算の主な事業

『ラグビーワールドカップ2019の推進』

- ・ラグビーワールドカップ推進事業
- ・熊谷駅正面口駅前広場改修事業

- ・熊谷駅正面口駅前広場デザイン・プロジェクトと8つの政策を柱に、「総合戦略」に
- ・熊谷駅正面口駅前広場デザイン
- ・歩行者案内施設整備事業



ラグビーワールドカップ2019の全国統一バナーで飾られた市街地

総合戦略『出産・子育て支援』

- ・不育症治療費等助成事業
- ・放課後児童保育室整備事業
- ・夏休み児童クラブ拡充事業
- ・英語教育推進事業

総合戦略『転入・定住促進』

- ・三世代ふれあい家族住宅取得等応援事業
- ・奨学金利子支援事業
- ・住宅購入に係る固定資産税等の課税免除

総合戦略『雇用促進』

- ・企業誘致推進事業
- ・『暑さ対策事業』
- ・クックパッド・熊谷のページ事業

- ・トイレの中から暑さ対策事業
- ・籠原駅前広場冷却ミスト事業
- 『市民協働事業』
- ・地区防災計画策定事業
- ・英語キッズガイド事業
- ・心のバリアフリー講師派遣事業

『防災対策・安全対策』

- ・高機能消防指令センター総合整備事業
- ・防災のまちづくり事業

『環境対策』

- ・熊谷駅南口広場公衆便所改修事業

『道路対策・交通対策』

- ・市役所通線自転車通行環境整備事業
- ・籠原駅北口駐車場整備事業

『産業振興』

- ・個店連携応援事業
- 『スポーツ・観光・交流』
- ・観光駐車場整備事業
- ・熊谷桜堤桜診断事業

『教育・文化』

- ・小学校・中学校校舎大規模改造事業
- ・小学校・中学校トイレ整備事業

『行政サービスの向上』

- ・保育コンシェルジュの配置